

課 題	新規 別 継続	新規 継続	経常・特別別	任意	担 当	開 発 箇 所	期 間	昭和 60年度 — 昭和 65年度	予 算 科 目	造 林 費 目 録 (育 林 費 目 録)	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
			目標との関連	1-7											
広葉樹(カシ類)の人工更新法						造林課				育林費	物件費	調査用品			
											役務費	現像, その他			
											人件費	(普 職) (普 職) 時 時	(-) 2		()
											計	—	2		()
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分											
				実 施 計 画				実 施 結 果				評 価 お よ び 普 及 計 画			
1. 有用広葉樹種子を林地に播種し保育管理をはかる。 2. 樹種 シラカシ, イナガシ シリブカガシ, アカガシ 3. 林地播種 昭和61年3月 4. 調査事項 (1) 発芽調査 (2) 生長量調査 4. 保育管理 下 列		1. 試験地設定 (1) 場所 三全温泉岳国有林8%, 林小班 (2) 面積 0.10 ha		1. 試験地設定				1. 試験地設定 昭和61年3月20日 2. 設定方法 (1) 1穴 2粒 (2) 1.8m x 1.8m の方形播付け							

試験経過記録

長崎 営林署

(様式4)〜1

課題

広葉樹(カシ類)の人工更新法

1. 試験地設定

(1) 設定前の林況

天然生アカマツ(林令36年生)の純林で他樹種の皆無であった。HA当り1.174本 $202m^3$ の林分を昭和60年度に皆伐して跡地である。

(2) 設定要領

A. 場所：三会温泉岳国有林 81ハ林小班

イ. 面積：0.10 ha

ウ. 設定期：昭和61年3月20日

エ. 使用種：種子

① イチイガシ：342粒 — 615g

② アラカシ：114" — 160"

③ シリブカガシ：114" — 253"

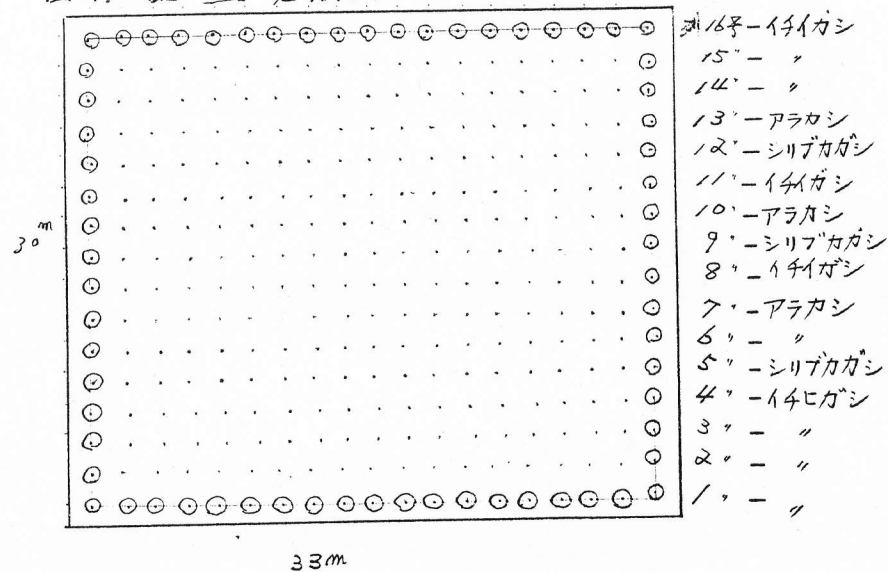
④ アカガシ：34" — 82"

注：種子は秋期自然落下をまって採取し、殺虫精選のための浸漬をおこなって、砂に混入土中貯藏した。

オ. 林地播付け方法

- 1) 1穴に2粒とし、 $1.8m \times 1.8m$ の方形播付けとした。
- 2) 埋込み深きは5cmを目途におこなった。

図-1. 配置見取図



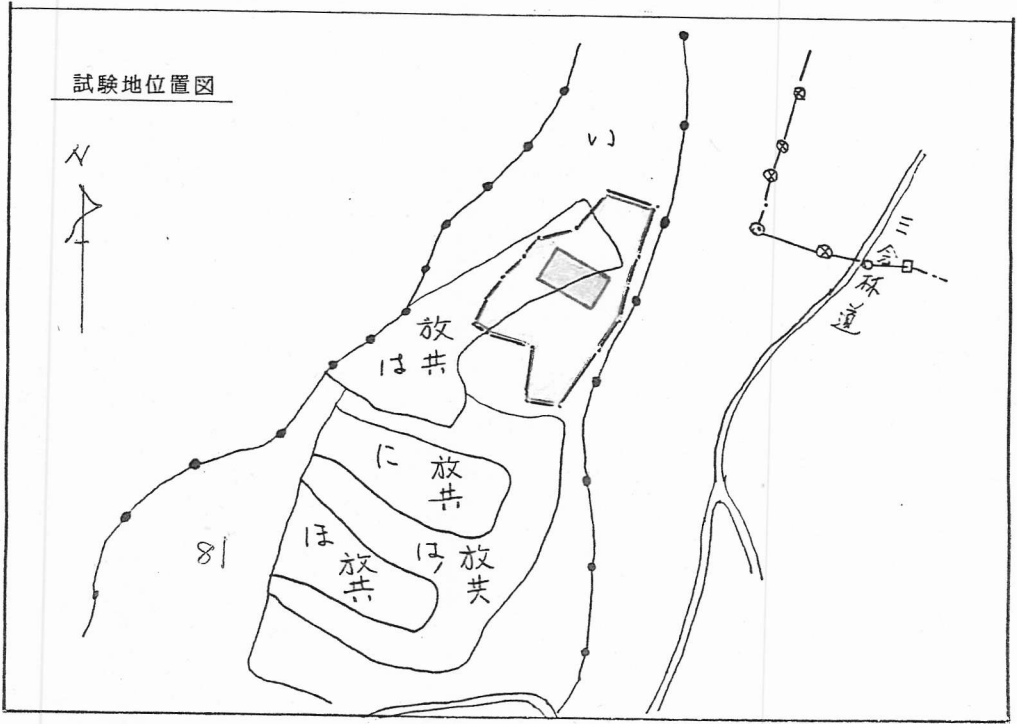
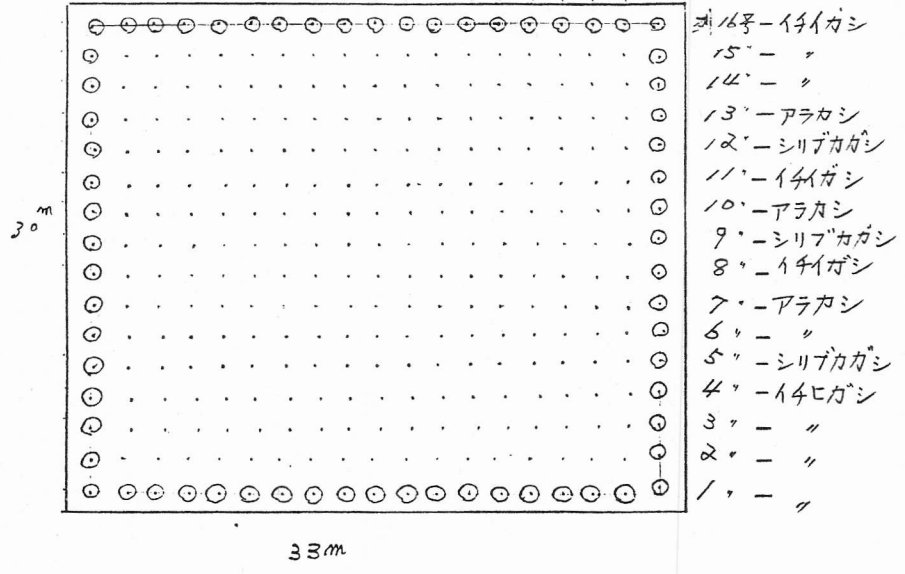


図-1. 観測器配置図



昭和61年度 技術開発実施報告書

熊本営林局

(任意課題)

課 題	新規 別 継続	新規	経常・特別別	経常	担 当 課	開 発 箇 所	開 発 長 崎	期 間	昭和 61年度 ～ 昭和 65年度	予 算 科 目	造 林 費 (育 林)	経費	品名	数量	単価	金額	
			目標との関連	1～ウ												円	円
		広葉樹(カシ類)の人工更新法										物件費	調査用品			円	円
												役務費	現像, その他				円
												人件費	(基職時)	() 2			(~)
												計	～				()
目的	有用広葉樹資源の造成をはかるため、人工更新による用材林育成方法を確立する。																
全 体 計 画			実 施 経 過			当 年 度											
						実 施 計 画					実 施 結 果			評 価 お よ び 普 及 計 画			
1. 試験地設定 (1) 種子の採取 (2) 播種 2. 保育 (1) 下刈 3. 調査事項 (1) 発生調査 (2) 生長量調査						1. 試験地設定 2. 林地まき付の方法 (1) まき付は鍬で土中埋込, 方形, 列状とする。 (2) まき付地点に杭を立て表示する 3. 保育 (1) 人力下刈 4. 調査事項 (1) 稚樹発生調査 ア. 下刈前, 秋期 2回 (2) 生長量調査					1. 試験地設定(昭和61年3月20日) (1) 場所 三会温泉岳国有林81い林小班 (2) 面積 0.10ha 2. 林地まき付方法 3. 調査事項 (1) 稚樹発生調査 (2) 生長量調査 4. 再度まき付実行						

課 題	継続 新規 別 継続	経 常 特 別 目 標 と の 連 関	別 任 意 一 ウ	担 当	開 発 箇 所	期 間	自60年度 至65年度	予 算 科 目	技 術 林 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
										千円				
目的	有用広葉樹資源の造成をはかるため、人工更新による用材林育成方法を確立する。											2人		
全 体 計 画		実 施 経 過			当 年 度 分									
					実 施 計 画			実 施 結 果			評 価 お よ び 普 及 計 画			
1. 有用広葉樹種子を林地に播種し保育管理をはかる。 2. 樹種 イチイガシ、アカガシ、シロブカガシ、アラカシ 3. 林地播種 昭和61年3月 4. 調査事項 (1) 発芽調査 (2) 生長量調査 5. 保育管理 下 列		1. 試験地設定 (1) 場所 三倉温泉岳国有林8人林班 (2) 面積 0.10 ha (3) 設定月日 昭和61年3月20日 2. 発芽不良のため雨度の播種 61年12月16日			1. 発芽調査 2. 生長量調査			1. 各樹種共に発芽不良(2%)があった。 2. 発芽したものは4~7cmに生長している。 3. 発芽不良のため試験地維持困難であるので雨度の播種をおこなった。						

(様式4)〜1

課題 広葉樹(カシ類)の人工更新法

1. 目的 有用広葉樹資源の造成をはかるため、人工更新による用材林育成方法を確立する。

等が考えられるが、いずれも判明しなかつた。

4. 調査の結果から試験地維持困難であるので、雨後の播種をおこなった。

2. 試験地

ア 場所: 三倉温泉岳国有林 8ノ11林小班

イ 面積: 0.10ha

ウ 設定: 昭和61年3月20日

エ 種子: 自然落下種子を採取し、殺虫精選のため浸漬をおこなって、砂に混入土中貯蔵した。
樹種は、イチイガシ、アラカシ、シリブカガシ、アカガシ。

ア 播付け年月: 昭和61年12月16日

イ. 樹種: イチイガシ、シリブカガシ、アラカシ。

ウ 種子の処理及び播付け方法。

(1) 採取した種子は3日間の水漬で精選と殺虫をした。

(2) 精選後直ちに取り播きした。

(3) 1穴2粒とし5cmの深さを目途にする。

(4) 野ネズミの食害防止のため、竹筒を4cm~5cm長10cm~15cmを地表面まで埋込み筒の中は播付けた。

オ 林地播付け方法

(1) 1穴に2粒とし1.8x1.8mの方形播付けとした。

(2) 埋込み深さは5cmを目途におこなった。

5. その他

試験地の位置及び面積は変らぬ。

樹種別配置は図1のとおり

3. 調査の結果

各樹種共に2%の発芽率で不良である。

原因として、(1) 乾燥による発芽率の低下。

(2) 野ネズミの食害。

(3) 播付け期のおくれ

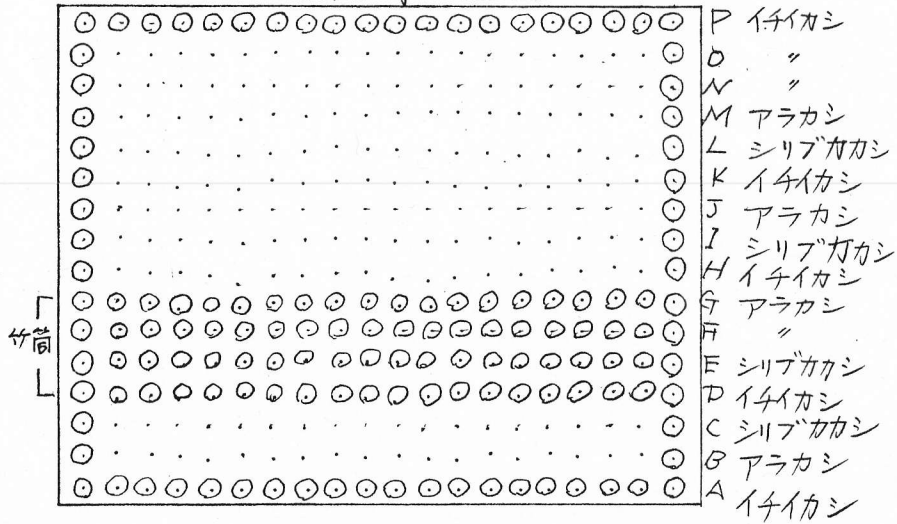
(4) 種子の不良

記載要領

1. 調査結果及び考察を記入する
2. 状況写真は別冊整理する

課題

図-1 樹種別配置図



記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する
2. 状況写真は別添整理する

課題名	広葉樹(カシ類)の人工更新法					
課題区分	任意	開発期間	61~62	担当	造林課	
目標	有用広葉樹資源の造成をはかるため人工更新による用材林育成方法を確立する。					
結果	2年間にわたり林地播種試験をおこなったが、野ソの食害で発芽不良で、試験地維持が出来ないので期間を繰り上げて試験完了とする。					
施業及び作業の内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容
	伐採の方法					
	樹種					
	林齢	年				
	胸高直径	cm				
	樹高	m				
	1haあたり本数	本				
	材積	m ³				
開発経過と調査内容						
1. 試験地設定						
(1) 場所 三倉温泉岳国有林81の小班						
(2) 面積 0.10 ha						
(3) 設定日 昭和61年3月20日						

- (4) 発芽不良のため再度播種した。
昭和61年12月16日
- (5) 播種した種子は、イチイガシ、アカガシ、シブカガシ、アラカシである。

調査事項

- (1) 林地発芽 初回~~播~~種では発芽率2%で不良
2回目播種では発芽率9%で不良
- (2) 生長状況 発芽したものは、発芽当年に10cm程とった

- (3) 野ソの害 林地に播付けした種子は、発芽する以前にほとんどが野ソによる食害を受けた為、発芽率が低下したものである。

野ソの生息状況は捕獲ワナを使用したが捕獲出来なかった。

評価及び普及指導

林地では野ネズミの駆除を徹底するか食害防止策を取る必要がある。

試験経過記録(その1)

長崎

営林署

課題

広葉樹(カシ類)の人工更新法

1. 目的 有用広葉樹資源の造成をはかるため、人工更新による用成林育成方法を確立する。

2. 試験地

ア 場所: 三会温泉岳国有林 8ノ1 林小班

イ 面積: 0.10ha

ウ 設置: 昭和61年3月20日

エ 種子: 自然落下種子を採取し、浸漬精選のうす砂と混じて土中貯蔵した。

樹種は、イチガシ、アラカシ、シロカガシ、アカガシ。

オ 林地播付け方法

(1) 1穴に2粒とし、18×18cmの方形播付けとした。

(2) 埋込み深さは、5cmを目途に均した。

3. 調査の結果

各樹種共に2%の発芽率が不良である。

原因として、(1) 乾燥による発芽率の低下、

(2) 野ネズミの食害

(3) 播付期のおくれ

(4) 種子の不良

いずれも判明しはかった。

4. 調査の結果から再度の播種をおこなった。

ア 場所: 三会温泉岳国有林 8ノ1 林小班

イ 面積: 0.10ha

ウ 年月: 昭和61年12月16日

エ 樹種: イチガシ、シロカガシ、アラカシ

オ 種子の処理及び播付け方法。

(1) 採取し、種子は3日間の水漬で精選と殺虫をおこなった。

(2) 精選後直ちに播付け

(3) 1穴2粒とし5cmの深さを目途にする。

(4) 野ネズミの食害防止のため竹筒を4cm長10×15cmと地表面まで埋込み筒の中に播付けた。

5. まとめ

発芽調査表

樹種	植穴数	発芽数	発芽率
イチガシ	208	30	14%
〃(竹筒)	52	6	10%
アラカシ	188	6	3%
シロカガシ	156	13	8%
計	604	55	9%

苗木調査表

苗木高 cm	本数
5	45
6~10	9
~	
30	1

課題

ア 野ソの喰害防止に竹筒を使用しPに上部から侵入喰害を受けて効果がなく発芽率10%にとどまった。

イ 発芽率9%で、樹種別内訳は表で示した。

ウ 発芽したものの生育は5cmが81%を占め10cmが16% 30cmに達したのが1本あった。

エ 林地播付けの場合は野ネズミ駆除と喰害防止策の両検討を要する。